

ブドウを活用した化粧品原料の開発から藤里町の特産品「白神山地ワイン」の復活に貢献

アルビオン「あきたSDGsアワード2022」を受賞

株式会社アルビオン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 章一)は、かねてより秋田県藤里町にある自社研究所「白神研究所」にて、化粧品原料となる植物の栽培からエキスを抽出、研究を行い、その一環として、藤里町の特産品であるワイン用のブドウ“ヤマ・ソービニオン”の果皮や種子、果梗(かこう)^{※1}からのエキスを抽出や効果検証などを進めてまいりました。この度、エキスを抽出時のブドウの残渣(果汁)を活用し、生産が途絶えていた「白神山地ワイン」の復活に貢献し、その功績が認められ「あきたSDGsアワード2022」を受賞いたしました。

※1 果梗:ブドウのヘタや柄の部分でタンニンと呼ばれるポリフェノールを含みます。

■あきたSDGsアワード2022

「あきたSDGsアワード」は、SDGs達成に資する優れた取り組みを行う県内企業を表彰し、活動の推進を後押しすることを通して、県内におけるSDGs達成に向けた取り組みの普及・質の向上を図り、官民一体での持続可能な秋田の実現を目指しています。

表彰式は1月30日に行われ、6つの企業・団体が受賞いたしました。



左から、秋田県知事 佐竹 敬久 氏
アルビオン白神研究所所長 小平 努

■アルビオンと秋田県藤里町のつながり

アルビオンは高級化粧品メーカーとして真に価値のある化粧品を提供するため素材にこだわっており、かねてより自社栽培による、安心・安全で効能に富んだ魅力ある化粧品原料の開発を構想していました。その実現に向けてふさわしい地を探し求めた結果、上質な水があり、世界遺産にも指定されている白神山地に出会い、2010年に秋田県藤里町に「白神研究所」を開所しました。同町の廃園になった保育園をご提供いただき、併せて耕作放棄地を使用して自社農園を開きました。有機栽培を基本に農園を拡大しながら多くの植物栽培を手掛け、研究拠点を拡大してまいりました。

現在、栽培した植物は、自社商品への配合だけでなく、化粧品原料の素材としてフランスの原料メーカーへの販売も行っています。

■藤里町の特産物「白神山地ワイン」

藤里町には「白神山地ワイン」という特産物があり、この原料となるブドウ“ヤマ・ソービニオン”は町内の農家が30年以上も生産し続けていましたが、人口減少と高齢化により栽培農家が減る一方でした。アルビオンは、2012年にブドウ由来の化粧品原料の検討を開始、その後ヤマ・ソービニオンの栽培も引き継ぐことにいたしました。

2018年の「果実酒等の製法品質表示基準」^{※2}の改定により、藤里町が山形県に醸造依頼していた「白神山地ワイン」はその名前を維持することができなくなり、同年を最後にその製造が止まることになりました。藤里町は、町内での「白神山地ワイン」の復活に期待し、2019年に構造改革特別区域法による酒税法の特別措置の認定を申請し、承認を受け、アルビオンはそれを機にワイナリー構想を開始いたしました。

※2 果実酒等の製法品質表示基準:日本初の公的なワインの表示に関する基準。その中では、地名をラベルや容器に表記する条件においては、その地方のブドウを85%以上使用し、かつ、醸造地がそのブドウの産地内にある場合と定められています。

■「白神山地ワイン」の復活

アルビオンは、2021年に植物から化粧品原料となるエキス（抽出物）を取り出す研究を行う“抽出研究棟”と併設する形で「ALBION Shirakami Vineyard & Winery（ヴィンヤード＆ワイナリー）」を開設しました。これにより、植物の種まきから原料の抽出・研究、化粧品の製造・販売まで一貫して自社で行うことができることに加えて、ワインの醸造も可能になりました。2020年収穫のヤマ・ソービニオンから醸造を開始し、化粧品原料に活用される種子や果皮を大量に入手すると同時に、果汁の一部より「白神山地ワイン」を製造することができました。

2022年6月1日に晴れて「白神山地ワイン」が復活を果たし、町内の酒店とホテルで販売されています。



■今後の展望

藤里町が30年以上も続けてきたヤマ・ソービニオンの栽培を継承することによる「白神山地ワイン」の復活は、地域貢献をめざすアルビオンにとって大変光栄なことです。今後は、さらに味や品質にこだわり付加価値の高いワインの醸造を目指してまいります。また、企画元の藤里町、醸造委託元である藤里町酒類販売者協会と連携し、ワインのバリエーションの拡大も検討しながら、多くの方から愛される「白神山地ワイン」を作り続けてまいります。

「白神研究所」では栽培技術研究をはじめ、世界初となるアルビオンオリジナルの亜臨界ジメチルエーテル抽出法を含む種々の抽出研究を行っています。ワイン醸造を応用した発酵技術も最大限に化粧品原料の開発に活かし、多くのお客様に感動していただけるような新規性・独自性の高い化粧品の開発を行っています。

今後も、白神山地をはじめとした自然の恩恵を大切にしながら、地域の発展・活性に貢献できるよう秋田県での研究活動に邁進いたします。

■参考

2010年7月1日発行リリース

[「アルビオン白神研究所」開所式を実施](#)

2022年6月3日発行リリース

[～自社栽培植物の残渣有効利用より、ワイン醸造を通じた地域貢献へ～
アルビオン白神研究所抽出研究棟・ALBION Shirakami Vineyard & Wineryの
プレス発表会を開催](#)

2022年6月9日発行リリース

[アルビオン白神研究所にて 再生可能エネルギーの地産地消を実現
地元秋田のCO₂排出量ゼロの電気を使用開始](#)